

平成30年度 第2回和泉総合高校学校運営協議会 議事録

日 時 平成30年11月2日(金) 14:00~16:00

場 所 本校 応接室

出席者 委員(敬称略)

寺脇 久人(会長) 上條 藤夫(副会長) 一井 正次

葛城 雅之 下荒神 亜矢子

学校・事務局

校長 事務部長 教頭(2名) 首席 進路指導部長

生活指導部長 教務部長

1. 校長挨拶(校長)

2. 学校見学

3. 学校生活全般についての報告

進路状況について(進路指導部長)

生徒の状況について(生活指導部長)

教務関係について(教務部長)

国際交流・スケアードストレイト等のイベントについて(教頭)

災害等対策について(校長・教頭)

4. 質疑応答

進路に関して

・進路について、一次合格率が85%なのは頑張っている。(委員)

・好景気で、努力せずに内定を得る生徒がいて、定着するかが心配。(事務局)

→ 定着率が心配なら、調査する手立てを考えてゆけば解消される。(委員)

・一度失敗しても、2度、3度とチャレンジして就職できるように頑張ってもらいたい。(委員)

生活指導に関して

・遅刻指導にも頑張ってもらっているので、このまま続けてもらいたい。(委員)

・イエローカードに関して、良いことをしたら一枚減じるとか、オリジナリティを持って対応していただければと思う。(委員)

教務に関して

・2年の選択について、電気への希望が25名なのに対して10名枠なのはなぜか(委員)

→ 工具の数などの制約があり、しかたがない。(教務部長)

学校行事に関して

・行事は生徒によい啓発になるので、是非続けていただきたい。(委員)

その他

- 東京ではハロウィンなど大変だったようだが、学校では問題がなかったか。(委員)
- 特に問題はなかった。(事務局)

- 今年は自然災害が多かったが、管理職が学校に泊まったのはなぜか。(委員)
- 近隣住民からの対応のため。(事務局)

- 台風被害により近隣で断水が起こった地域があり、中学生がボランティアとして水を届けて大変感謝された。中高が連携して行うことができればとても生徒のためになると思う。(委員)

- 中学校は避難場所となるが、備蓄はどんなものか。(事務局)
- 毛布の備蓄はある。水は水道管を工夫して災害時でも2、3日分は確保できる。(委員)

- 災害時の連絡メールなど迅速に対応いただきありがとうございます(委員)

- ものづくり色が薄れていくのが寂しい。工業系もメリハリをつけて残してくれればと思う。(委員)

- 中退者や不登校者がよく問題になるが、入学者全員が卒業できる対策は何かできているのか。(委員)
- 年度途中ではあるが教務内規の進級に関する部分を変更した。卒業を考えたときに、特に2年生へ進級することが大事である。また、年度内追認定考査をセットで考え、不認定科目の年度内取得への手立ても行う。(事務局)
- 生徒のために臨機応変に対応いただきたい。(委員)